

福 井 県 医 師 会

だより

第645号 平成27年(2015)3月



北野天満宮の梅苑

坂井地区 西野 慎吾

表紙写真説明：北野天満宮の梅苑

坂井地区 西野 慎吾

二千本あるとされる北野天満宮梅苑を平成16年3月に訪れました。種類多く(約50種)、照水梅、臥竜梅、金筋梅等の珍種や白梅、紅梅を咲分け、一重八重の梅が咲き誇っていました。

こち
東風吹かば匂いおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな

醫 縫 録

日本版医療MB賞 クオリティクラブ



福井県済生会病院長 登谷大 修

平成26年10月1日付で、福井県済生会病院院長を拝命しました登谷でございます。どうぞよろしくお願い致します。

私は、消化器内科の医者ですが、ここ10年余りは、病院の中で、主に経営企画室長として活動してまいりましたので、本稿では私たちが所属し勉強しています、JHQC（日本版医療MB賞クオリティクラブ）のご紹介をさせていただきます。まず、MB賞とは、1980年代レーガン政権時代、米国産業が国際競争力を失った際に、当時品質管理を徹底することで国際競争力を伸ばしていた日本企業の調査、研究などを通して、米国産業の競争力回復を目指して創設された国家表彰制度です。当時の商務長官の名前を冠してマルコム・ボルドリッジ賞（MB賞）と称されますが、米国国家経営品質賞とも呼ばれ授賞式では大統領自らが表彰を行う権威ある賞です。これまでの受賞企業には、モトローラ、リッツ・カールトンなど国際的な大企業も含まれています。このMB賞を徹底的に逆輸入、研究し創設された日本版MB賞といえるのが「日本経営品質賞」です。私たちの勉強会JHQCは、この賞の考えを取り入れて、医療経営の質の改善に努めようと、(財)日本生産性本部が、2009年設立し、具体的には、「クオリティクラス認証」制度をはじめ、患者や従業員、地域社会の視点から医療機関の経営改善のための相互研鑽、学習・研究、海外視察等幅広い活動を実践しています。私たちの病院はJHQC発足時より参加し、認証制度のAクラスに2009年、Sクラスに2011年に認証され、経営品質賞の地方版である福井県経営品質賞、知事賞を2011年に、本賞である「日本経営品質賞大規模企業部門」を2012年医療機関としては日本で最初に受賞しました。これだけ書くとただの自慢ですが、私たちがこの賞を勉強したのはそ

の考え方にあります。最も基本的な考えは「品質の高い優れた製品・サービスを生み出すには、製品・サービスそのものの問題対応では不十分であり、最終的にそれを生み出す組織の風土や文化、さらには組織のもの見方や考え方を常に見直していくことが重要」としています。つまり、組織の質が医療サービスの基本だとしています。

また、理想的な組織に必要な要素（基本理念）は、

- ①顧客本位:利益ではなく顧客（患者さん）の評価がすべてに優先する（顧客価値提供の結果として組織の収益が得られる）。
- ②独自能力の追求:他病院の模倣や管理の改善ではなく、病院独自の医療の価値を創造する。その為に「見方」「考え方」を学ぶ事が必要。
- ③社員重視:職員一人ひとりの尊厳を守り、職員の自主性と知的創造性による病院全体の改革を目指す。その為には、支配統制型ではなく、自律的な経営が重要。経営幹部はその環境を意図的に作らなければならない。
- ④社会との調和:医療そのものが社会貢献ではあるが、さらに社会的価値と調和する意識が重要。組織目標の中に社会的価値を取り込み、積極的に地域社会の発展に協力すべき。

の4つとしています。

私達はこの考え方に深く共感し、全国の仲間と共に勉強しています。福井県では市立敦賀病院、石川県では小松ソフィア病院と一緒に勉強しています。組織の規模や職員の数に関係なく、これからの医療経営にとっても有意義だと考えています。県医師会の先生方も是非ご参加ください。